

# 第12回MGR

トピックス: UKPDS、Legacy effect

発表者: 高橋和紀(研修医)

コメンテーター: 井上正晴(糖尿病内分泌内科)

文献:

10-Year Follow-up of Intensive Glucose Control in Type 2  
Diabetes (UKPDS 80)

Holman RR, Paul SK, et al

N Engl J Med. 2008 ; 359(15) : 1577-1589

2010年11月8日

# 10-Year Follow-up of Intensive Glucose Control in Type 2 Diabetes (UKPDS 80)

## 【目的】

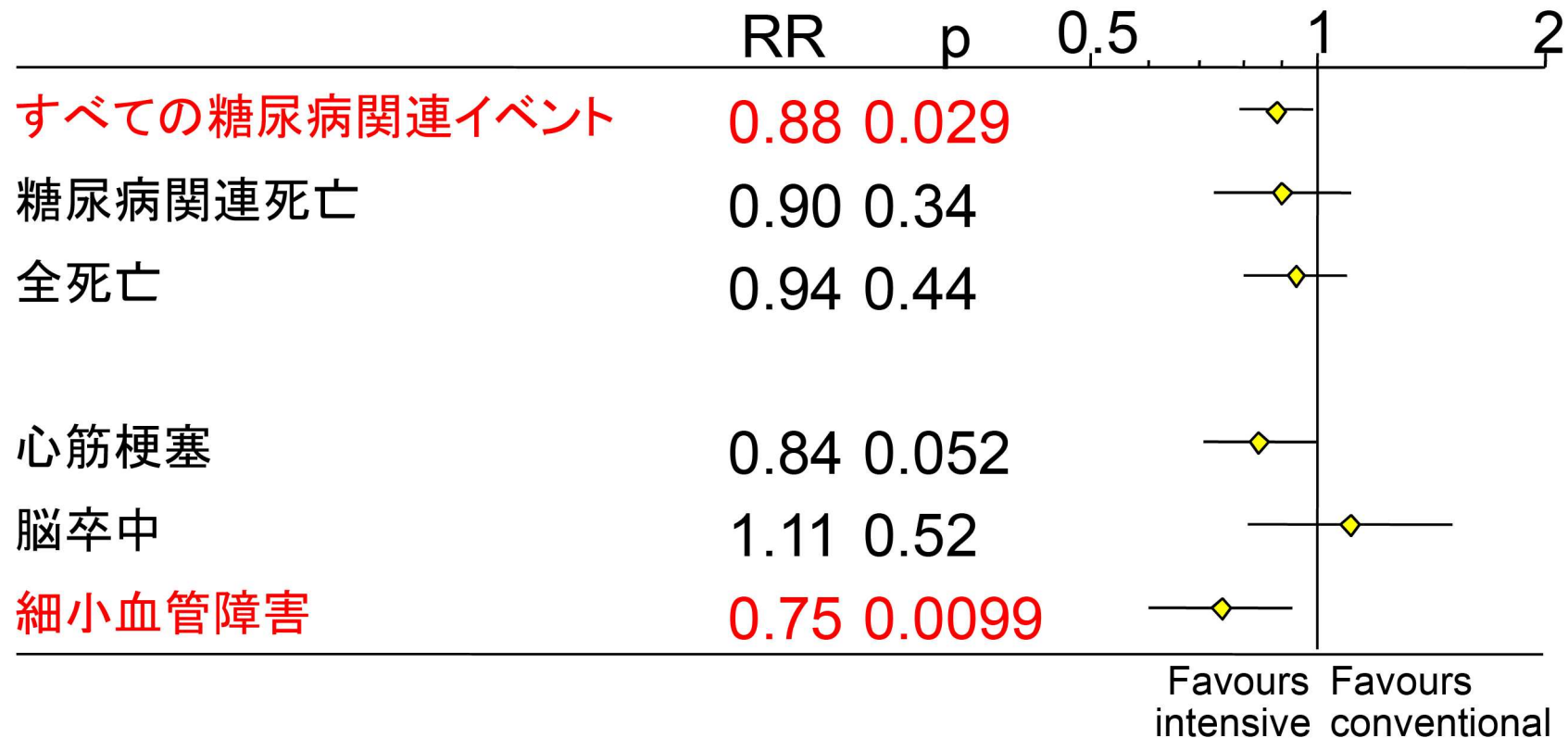
UKPDSにおいて、強化血糖療法を受けた患者群は、通常減量療法群よりも細小血管合併症のリスクが低かった。

今回、この血糖コントロールの改善が持続しているか、またこれらの治療の大血管障害アウトカムに対する長期効果について、試験終了後のモニタリングを実施した。

# UKPDS33 血糖コントロール試験

25-65才の4209例の新規の2型糖尿病患者について、英国で実施された平均10年間にわたる過去最大規模の疫学調査。

強化療法群(平均HbA1c7.0%)と従来療法群(平均HbA1c 7.9%)の比較  
Relative Risk & 95% CI



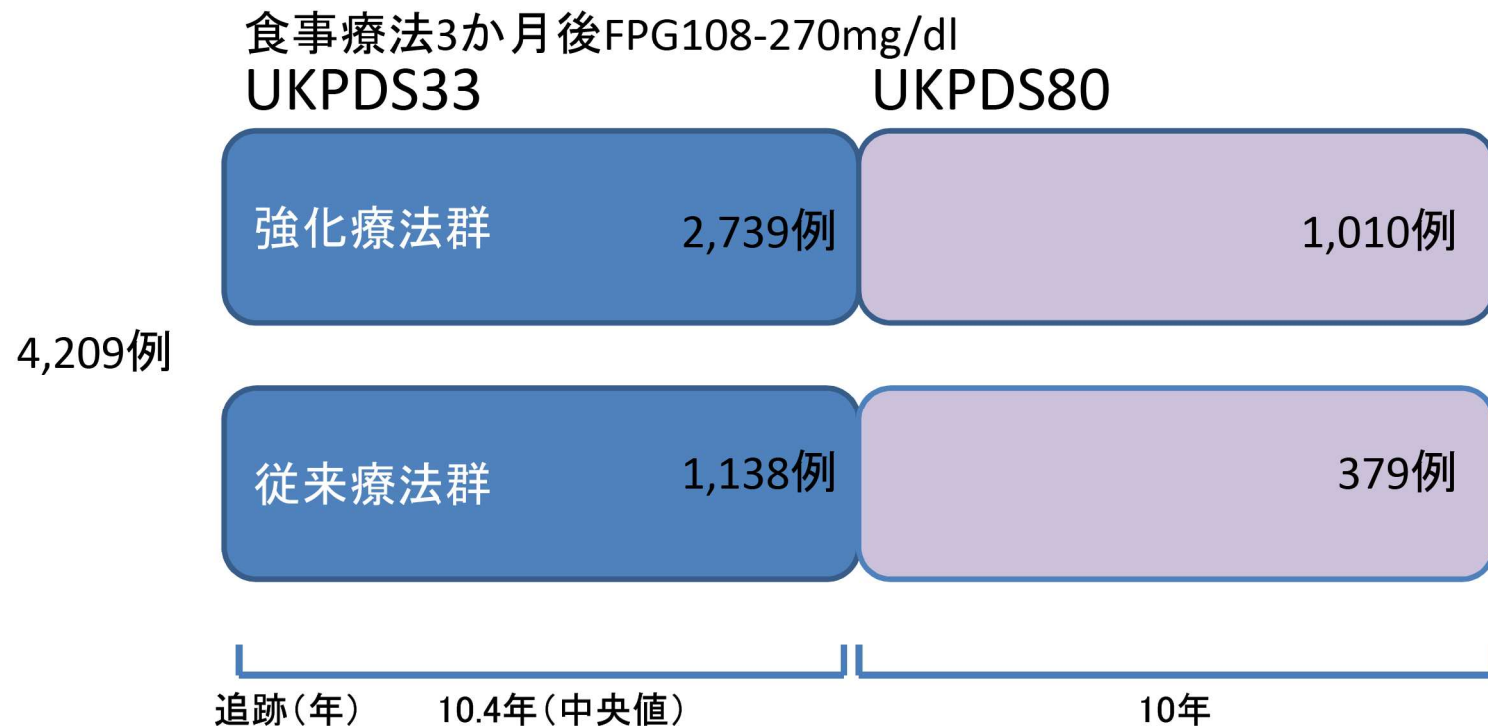
細小血管障害(腎症、網膜症)は有意に抑制されることが証明されましたが、大血管障害(心筋梗塞など)抑制効果を示すことはできませんでした。従って死亡率も減少していませんでした。

# Methods: Post-trial Monitoring

- 今回のモニタリングでは、生存者の50%が死亡すると予想される10年後まで患者を追跡する、試験後モニタリングを開始した。
- UKPDSが発表された1998年に、これまでの介入の治療に関係なく血糖・血圧に最適な治療を行うように指導した。
- 当初5年間は年に1回、UKPDS参加クリニックを受診するよう依頼した。
- 6年目から10年後までは、全員に質問票を用いた調査のみを実施。
  - 2007年9月30日終了

# UKPDS80

## 血糖管理



# 結果 HbA<sub>1c</sub>の変化

【従来療法群 vs 強化療法群(SU薬/インスリン群)】

